

# 平成27年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点      マスタープラン： 3つの挑戦      施策番号： 5-2      局・課名： 環境局・環境共生課

事業名	生物多様性保全推進事業	事業費(千円)	平成25年度決算額	平成26年度予算額	平成27年度要求額		
			4,634	5,787	14,631		
<b>事業概要</b>	<p><b>【目的】</b> 生物多様性基本法第13条に基づき策定した生物多様性・堺戦略に基づく各種施策を実施することにより、生態系、種、遺伝子の3つのレベルの多様性を確保するとともに、生物多様性保全に体系的に取り組むことにより、生物多様性に配慮したまちづくりを推進していくことを目的とする。</p> <p><b>【内容】</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■体制整備・仕組みづくり(プラットフォームの構築) 産学官民協働体制として、(仮称)生物多様性ネットワーク会議と(仮称)堺生物多様性センターを整備。これらをプラットフォームとして、庁内外組織とともに各活動のネットワーク化を図りながら、各主体の取組みを促進する。</li> <li>■調査研究 今後施策を展開していくにあたり、施策効果を定量化しながらエビデンスをもって施策の企画立案を行うことが重要であることから、施策による効果を試算すべくシミュレーション業務を実施する。</li> <li>■普及啓発 生物多様性の認知度向上を目的とした啓発イベントを実施する。</li> </ul> </p> <p><b>【今年度要求のポイント】</b> 生物多様性・堺戦略の策定から3年目となる平成27年度は、戦略推進のための基盤となる産学官民協働体制(プラットフォーム)の構築に注力する。また、Webマッチングステーションの構築にあたっては、学校教育ICT事業との連携を図り、次世代を担う環境人材の育成を推進する。さらに、中長期的な視点で施策を展開していく中で、エビデンスをもった施策の企画立案が重要であることから、施策効果のシミュレーションを行う。なお、生物多様性の認知度向上を目的とした啓発業務については、一部規模を拡充して継続実施する。</p>	<b>債務負担行為</b>	期間	要求額(千円)			
		<b>主な要求内容</b>	(単位:千円)				
		項目	26年度予算	27年度要求額	内容・積算等		
		体制整備	357	6,287	センター整備ほか協議会運営費等		
		調査研究	4,924	6,891	経済波及効果等シミュレーション業務等		
		その他(旅費)	114	236			
		普及啓発	392	1,217	イベント開催経費		
			合計	5,787	14,631		
<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>							
<b>【経過(～26年度)】</b> 地域戦略策定 H24、地域戦略に基づく事業展開 H25～、堺市レッドリスト改訂・堺生物多様性ネットワーク会議設置 H26		<b>【27年度】</b> 戦略推進のための協働体制の構築 施策効果シミュレーション業務 各種啓発業務		<b>【今後予定(28年度～)】</b> 事業継続実施			
<b>その他 特記事項</b>							
みんなの審査会対象外 関連事業 南部丘陵における緑地保全事業、緑の育成事業 臨海部整備推進事業、臨海部活性化推進事業 学校教育ICT化推進事業、環境教育推進事業							